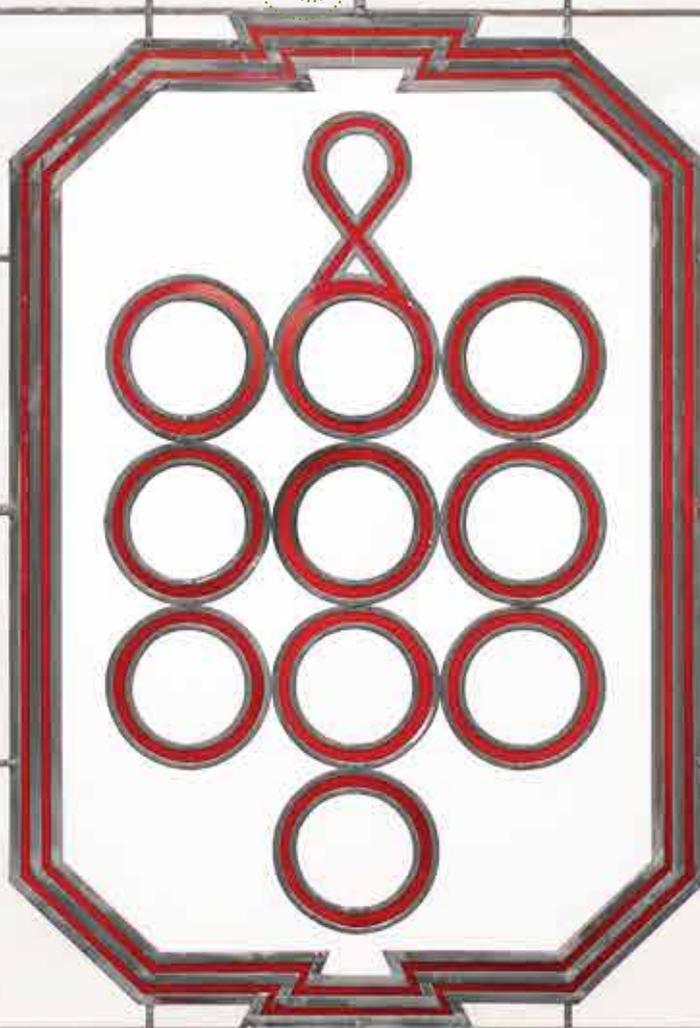




B U D O U  
Alumnae association bulletin

2014

福岡女学院同窓会会報



*Contents*

同窓会会長挨拶.....1	50年目の卒業式.....12
福岡女学院短期大学 開学50周年.....2	教養講座「グレーブ・ガーデン」報告.....12
2013年度同窓会総会報告.....3	学院INFOMATION.....13・14
福岡女学院看護大学から.....4	バザー報告.....15
高等学校音楽科開設50周年記念事業を終えて.....5	お仕事会報告.....16
同窓会本部へようこそ.....5・6	卒業生合唱団「葡萄」・音楽科卒業生会.....16
支部だより・2013年度支部総会報告.....7・8	会計報告.....17
卒業生紹介.....9	ガリラヤ湖のほとり.....18
Mission Family.....10	イベント案内.....19
義援金と支援活動について.....11	編集後記.....19



# 会長挨拶

## ぶどうの木

新春のお慶びを申し上げます。

福岡女学院同窓会本部は今年百年を迎えます。現在は全国10ヶ所の支部があります。(関東支部会は英和女学校校友会として、同窓会本部設立の四年前に発足しています。関東支部史誌「葡萄の木」参照)

昨年総会では会則改正のご承認をいただきました。主な改正部分は、学院にある各グレード、つまり中高、短大、大学、看護大学がそれぞれの同窓会部会を立ち上げることが出来る枠を作ったことです。同窓会は、本部に事務局を置き、各支部との連携を取りつつ支部の活動を支え、会員個々への対応も行いながら運営しております。つまり福岡女学院同窓会は、横の繋がり、縦の繋がり、学院との繋がり全てを包括していることとなります。一本のぶどうの木、その枝は四方に広がり、各枝はまた小枝を支え、その枝になるぶどうの房の一粒一粒には、福岡女学院の「こ



同窓会会長  
栗山 昌子  
(S 30年高卒)

ころ」がしっかりと詰まっていると私は信じております。

## 枝の広がり

129年前に英和女学校としてスタートした学校が新しい教育制度で福岡女学院中学・高等学校となり、中高貫校として長年の歩みが続けてきました。その後、短期大学が開学して今年50周年を迎えます。次に大学、大学院、看護大学が開設され、時代の流れに沿って福岡女学院には次々に教育機関が増えました。短期大学独自の同窓会を持ちたいと希望している卒業生もいるでしょう。既に2012年には看護大学が第一回の卒業生を送り出し、看護大学同窓会部会を立ち上げました。いずれ大学部会もできるかもしれません。

## 母校を思う心

同窓会に関わってきて感じることは、同窓生の母校を思う気持ちが強いです。それぞれが忙しい身であるにも拘らず、ボランティアで支部長や役員を引き受けてく

ださっています。サポーターとして協力してくださっている方もいます。今までお会いした80代、90代の同窓生の多くの方は、ご自分の人生を振り返って、今ある自分は女学院のお陰であり、女学院の教育は自分の原点だとおっしゃいます。何がそう言わせるのだろうか、私は時々考えます。それは女学院で得た数々の心の糧、その糧を生きる力として、卒業後も遠く離れていても、ずっと持ち続けていらつしゃるのだと思います。聖書には「見えるものは過ぎ去りますが、見えないものは永遠に存続するから」(コリントⅡ4:18)と書かれています。

最後に、私が頂いた手紙やメールの中から二人の同窓生の言葉をご紹介いたします。

\*「どんな時でも、私の行為は福岡女学院の学びに沿うものだろうかと問うことを忘れないでいます。」(S18年女卒Nさん)

\*「今、こうやって私が頑張れるのは、もしかしたら女学院でもらったDNAのお陰じゃないかと思う。」(H6年高、H11年大卒Aさん)

お二人の年代は半世紀近く異なりますが、女学院に対する思いは変わりがないと感じました。

この度、同窓会は100周年を迎えます。今年はぜひいらつしゃいませんか。

## 創立129周年 2014(平成26)年度 福岡女学院同窓会総会

日時：2014年5月16日(金) 午前11時～午後3時

場所：西鉄グランドホテル

ゲスト：女優 藤吉 久美子さん(S55年高卒)

演奏：中高ハンドベルクワイア

会費：6,000円 80歳(S27年高卒)以上の方4,000円・新卒の方3,000円

当番学年：S62年高卒・H1年短卒



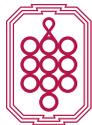
100<sup>th</sup>

詳しくは同封のチラシをご覧ください。  
チラシ(裏面)の振込用紙にてお申し込み下さい。

※ご注意、あらかじめ同窓会本部から許可のないチラシ・印刷物の提示や配布はご遠慮ください。

2014年、短期大学は開学50周年を迎えます。  
同窓生の皆様、是非、記念行事にご参加ください。

福岡女学院短期大学  
開学50周年



福岡女学院短期大学  
開学50周年記念行事

2014年4月26日 土



＊ 記念式典(礼拝)	午後1時～	福岡女学院 ギール記念講堂
＊ 記念講演会	午後2時20分～3時50分 「心の国際化を求めて」 講師:東後 勝明 氏	福岡女学院 ギール記念講堂
＊ 記念祝賀会	午後6時～8時30分 参加費:3,000円(当日受付にて) ※祝賀会は申込が必要です。下記をご覧ください。	西鉄グランドホテル 2階 プレジール

記念祝賀会申込について

**申込方法** 下記のいずれかの方法でお申込みください。

- ① 電話 092-575-3980 ② E-mail eigoka@fukujo.ac.jp
- ③ FAX 092-575-4456
- ④ 福岡女学院大学ホームページ申込フォーム  
(大学のトップ画面にあります)  
<http://www2.fukujo.ac.jp/university/>

**必要事項**

- ① 氏名、② 氏名よみ、③ 旧姓、④ 郵便番号、⑤ 住所、  
⑥ 電話番号、⑦ 出身科、⑧ 卒業年  
E-mailをお持ちの方はアドレスもお知らせください。

**申込締切** 2014年4月11日(金)午後1時

懐かしい先生やお友達と楽しいひと時を過ごしませんか。  
同窓生の皆様の祝賀会へのご参加、心よりお待ちしております。

＜＜記念祝賀会に参加予定の教職員＞＞

教 員	安部 一紀	浅田 雅明	安中 康子	石川富紀子	石橋 徹
	板倉 武子	今村 紅子	植田 正暢	上田 修	上原 敬司
	大芝 香織	小田桐弘子	August McInnis	垣原由利子	木ノ脇悦郎
	清川 直人	後田富久子	齊藤 皓彦	坂元 明子	坂元 恵子
	Jack D. Brajcich	城土 穎	末澤 明子	高島 一路	田中 淳子
	徳永 徹	富田 礼子	Troy Doucette	二階堂 整	西垣 二一
	西田 圭子	中川 憲次	原武 哲	原(溝上)由美子	増田 榮
	松崎 寛子	宮内 妃奈	安河内由美子	山口 伸枝	山本 信子
	山本 博				
	職 員	安心院恵子	木下 智史	角 静香	世利 優子
	本山 貴典	山口(前野)みのり	吉松 朋之	吉村 球夫	

あいうえお順、敬称略、( )は旧姓 上記以外にも多数の教職員が参加いたします。

短大開学50周年に寄せて

一般教育・国文科

前田 淑

(福岡女学院短期大学名誉教授)



短大が二学科で発足したのは女学院創立79周年の年でした。その後、将来大学を創る母胎として国文科が設置されました。その為に岩橋院長、木梨学長のお供をして文部省に出頭した時、ヒアリングの席で審査委員の先生から「お宅は老舗(しにせ)ですからね」と言われた一言は、今も忘れることができません。これはギール先生以来、女学院が歴代の院長先生を中心に、日本の女子教育史に果してきた歩みが、中央で評価された言葉でした。

英語科

板倉 武子

(元福岡女学院短期大学教授、  
福岡女学院大学名誉教授)



英語科が85人の新生を迎えて行われた、第一回目の開学式の日から50年過ぎました。  
美しいキャンパスで、多くの恵みと愛を皆様から戴きました。「時間よ、そのまま止まっていて下さい」と叫び出したくなるほどの素晴らしい瞬間が、何度もありました。お懐かしい皆様、是非とも、お会い致したく存じます。もう呼び戻すことの出来ない過ぎ去った日々も、皆様方とお話をすれば取り戻せるような気がします。

家政科・生活学科

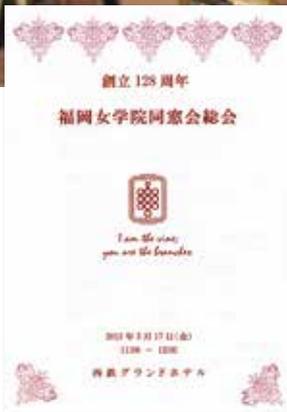
石橋 徹

(元福岡女学院短期大学教授、  
福岡女学院大学名誉教授)



短大開学50周年おめでとうございます。私はかつて、家政科(後の生活学科)に奉職していた者です。短大の国文科と生活学科を廃止して大学の人間関係学部を開設したため、両科は発展的に解消しましたが、卒業生の母校は大学の中に息づいており永久不滅です。記念行事に多数の卒業生が出席されて、卒業生相互の良き交わりの時となりますように。福岡女学院の益々の発展と卒業生の皆様のご多幸を心よりお祈りいたします。

## 2013年度同窓会総会報告



総会プログラム

2013年5月17日(金)西鉄グランドホテルにて、来賓および同窓生209名の参加のもとに福岡女学院創立128周年、2013年度同窓会総会を開催いたしました。

## 【第一部】礼拝・総会

奨励は、名誉院長・同窓会看護大学部顧問徳永徹先生に、マザーテレサの言葉を引用した「Make Her Smile」のタイトルでお話しいただきました。マザーテレサが、「災害や戦闘や貧困で厳しい環境におかれている人々に、微笑みを与えることがどんなに彼らに勇気を与えるか」を語っていることを紹介されました。そして、総会に集う同窓生に、「様々な苦しみで微笑んでいない身近な人に、微笑みを与えることが大切です。」と説かれました。

議事はすべて承認されました。今年度から新たに役員として2名加わりました。栗山会長をはじめ、22名の役員で同窓会の皆様のお役に立つよう努めてまいります。

## 【第二部】懇親会

懇親会は看護大学学長西間三馨先生の乾杯で始まりました。

その後、当番学年によって、これまでの「メサイア」の歴史や、練習風景などが映像によって映し出され、音楽科の3名の演奏とともに流れました。

卒業生合唱団「葡萄」の合唱、続いて総会参加者全員による「創立記念日の歌」と恒例の「ハレルヤ」の大合唱で2013年度の総会を終えました。

ミッショングッズや「お仕事会」の手作りの品々の販売もありました。各々の持ち場で力を出してください。各々今年、そしてこの総会にご協力ください。同窓生の皆様にご協力申し上げます。



福岡女学院看護大学から  
福岡女学院同窓会の  
皆様方へ



福岡女学院看護大学  
学長  
西間 三馨

同窓会の皆様、はるか古賀の地から女学院ファミリーの新参グレイドの看護大学より看護大学、及び第2代学長の私の紹介をさせていただきます。

本学は開設6年目に入ったところで、すでに2期206人の卒業生を出しています。特色はいくつかありますが、ここでは2つ述べさせていただきます。

1つは、福岡女学院の建学の理念でもありますキリスト教の愛の精神に基づく教育と、看護の理念でありますヒューマンケアリングです。これらを合体させた講座が数多く生まれ、倫理観、愛情、そして感性を育くむ教育で、優良な次世代を担う看護職を育成することを目指しています。

もう一つは、臨地実習に関するところで、看護教育は如何に優良な実習病院と連携できるかが、その教

育成果に極めて大きく関わってきます。看護大学キャンパスが国立病院機構福岡東医療センターに隣接していることからお分りのように、国立病院機構の病院群と設立当初より深く結びついており、福岡県内の6国立病院機構すべてが実習病院となっています。

他にも、九州大学病院、福岡大学病院、浜の町病院、九州中央病院、福岡市民病院等の著名な病院・大学附属病院も私共の実習病院群に入っております。

このような特色を有している大学は全国203の看護大学の中にも傑出した存在です。昨年、今年と卒業し就職した二期生、二期生の就職先をみましても、それぞれ国立病院機構関係に44%、実習病院関係に62%、大学病院関係に33%となっており、如実にその連携の深さが数値として示されています。

最近では医療・看護の深化に伴ない、看護の分野も認定看護師、専門看護師が続々と各領域に出ています。昨年末で専門看護師は1,000名、認定看護師は10,000名を越えています。さらにはNurse Practitioner(特定看護師)と呼ばれる新たな展開もみえています。従来、医師のみが行ってきた分野にまで進出しつつあるのです。

また、世界に類を見ない少子高齢化の先頭を日本は走っており、2020年頃には75歳以上が1,700万人を越し、逆に19歳以下は2,

100万人と減少する、正に超高齢化社会に突入します。このことは介護・医療を多大に要する年齢層の人々に医療Smoralityである看護がどう関わり、逆にそれを支えていく小児を如何に健全に成長させていくかが問われている時代に突っており、その対応に一刻の猶予もない状況です。

このように、従来の日本の看護師のイメージとはかなり違っており、より広く、より深い領域への拡大、進展が看護界でみられるようになりました。

私達福岡女学院看護大学のスタッフは「全ては学生のために」の精神を持って、4年間の学生生活を充実したものとし、卒業時には最高の笑顔と成就感を持って社会に飛び立たせるべく教育に励んでいます。

頁がなくなり私の紹介ができませんでしたが、インターネットで「西間三馨」を検索していただくと、結構、詳しいものが出ております。2012年4月から第2代学長となりました私は、畏敬する徳永徹初代学長の足元にも到底、及びませんが、福岡女学院の栄光に満ちた伝統を汚すことなく、この新設看護大学を確固たる存在にするべく努力しています。

最後に、福岡女学院に係る皆様方から温かなご援助、ご声援をいただいていることに心より感謝申し上げます。

当番学年より

今回、49名でお手伝いさせていただきました。この日のために、海外から駆けつけてくれた友人もいました。卒業して長い年月が経ちましたが、改めて「葡萄の木」という絆の強さを感じました。

旧友との久しぶりの再会を楽しみながら準備することができました。2012年、30回目を迎えた「メサイア」をテーマに映像を作成し、音楽科による演奏とともに楽しんでいただきました。準備期間中、役員の皆様を始め、多くの方々に手助けをしていただき、総会当日を迎えられてことに感謝いたします。

今後の学院と同窓会のますますのご発展と皆様のお幸せをお祈りします。ありがとうございました。



当番学年:S61年高卒・S63年短卒



高等学校音楽科  
開設50周年記念事業  
を終えて



実行委員長 中高校長  
二田真知子  
(S45年音卒)



高等学校音楽科は開設50周年を記念して、5つの事業『ロゴマーク』『記念演奏会』『記念誌』『特別礼拝』『公開講座』を行いました。すべてに先駆け『ロゴマーク』を作成しました。今後も使えるように『since 1963』という文字を入れたものも作っておりますので機会がありましたら是非使ってください。

『記念演奏会』は、10月4日(金)福岡アークロスシンフォニーホールにて開催しました。これまでお支えいただいた方々へ感謝を表わす時としたいと考え、卒業生と在校生による演奏会としました。1,000名近い方がご来場くださり、とても暖かい雰囲気の中で演奏する事が出来ました。「ハンドベル」「2台のピアノ」「ヴァイオリン、フルート、ピアノによるトリオ」「サクソフォンとピアノのアンサンブル」「合唱」と、ヴァラエティに富む構成となり、「楽しかったです」という感想もたくさん頂きました。特に最後の合唱「天地創造」は、卒業生と在校生を中心としたオーケストラを結成して演奏することができました。大きな喜びでした。

『記念誌』を当日のパンフレットの第2部として組み込む事ができた事も、とても良かったと思います。

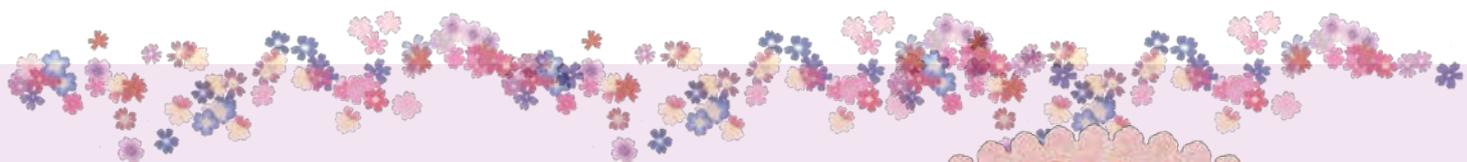
『記念礼拝』では演奏会前の3日間、音楽科卒業生と本校教員に奨励をして頂きました。社会で活躍しておられる卒業生を身近に感じるとても良い機会となりました。

そして『公開講座』はベートーヴェンとショパンのテーマで開催し、30名ほどの参観者をお迎えすることができました。

立案から2年、音楽科卒業生会を始め、多くの方々にご協力を頂きました事を心より御礼申し上げます。プロとして活躍される卒業生の姿に、改めて歴史の重みと引き継ぐ者としての責任の大きさを感しました。そして生徒たちは「ぶどうの枝」に繋がっている事を実感し誇りを覚えた事でしょう。

128年間積み重ねられてきた本学院の音楽文化をさらに深め、発信者として、内外に活動を広げていきたいと考えております。今後ともご協力、ご支援をお願いいたします。

卒業生の皆様のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。



同窓会本部の前で

**村田さん三姉妹**  
(旧姓)

左: 江頭 寿子 さん  
(S31年高卒の方と同学年)

中央: 辻本 孝子 さん  
(S34年高卒の方と同学年)

右: 古田 知子 さん  
(S32年高卒の方と同学年)

三姉妹で東京都から九州旅行の途中で同窓会本部を訪問されました。女学院に通われたのは三年間ですが、同窓会の入会手続きをされ、会員になりました。三人そろって女学院時代を懐かしまりました。



## ❁ 同窓会本部へようこそ

同窓会本部を訪れてくださった同窓生の中から何名かご紹介したいと思います。



### 篠原 弥生さん

(旧姓 中谷)  
S12年女卒

2013年2月にお孫さんの小倉敬さんと一緒に石川県より同窓会を訪問されました。アルバムを見ながら、上野の音楽学校に入学するお友達をお見送りに行かれたこと、檀リツ子(旧姓高橋)さんと同級だったことなど、懐かしく当時のお話をされました。卒業の際に徳永ヨシ先生から記念のサインをしていただいた貴重な聖書も見せていただきました。いつまでもミッションスピリッツをもち続けていらっしゃる姿に感銘を受けました。



お孫さんと



在学中の篠原弥生さん



会長と一緒に当時のアルバムを見ながら

### 横田 綾子さん

(旧姓 荒川)  
S13年女卒

荒川文六先生(元福岡女学院理事長S22年～S43年)の娘さんの横田綾子さんがお子様(望さん、春代さん)とご家族で訪問されました。資料室にて文六先生のレリーフをご覧になり、同窓会でご歓談されました。望さんの奥様文子さん(S51短卒)、春代さんのご主人本戸正彦さんのお母様賀子さん(S5女卒)も女学院卒でまさしくミッションファミリーです。



文六先生のレリーフの前で

❁ 同窓会では皆様の母校への「お帰り」をお待ちしています。❁

事前に事務局(TEL:092-575-2479)までご連絡いただくと幸いです。

また、P5の村田さんのように転校や中学卒業までで同窓会会員になられていない方も、会則により入会できますので、ご希望の方がいらっしゃいましたらお知らせください。

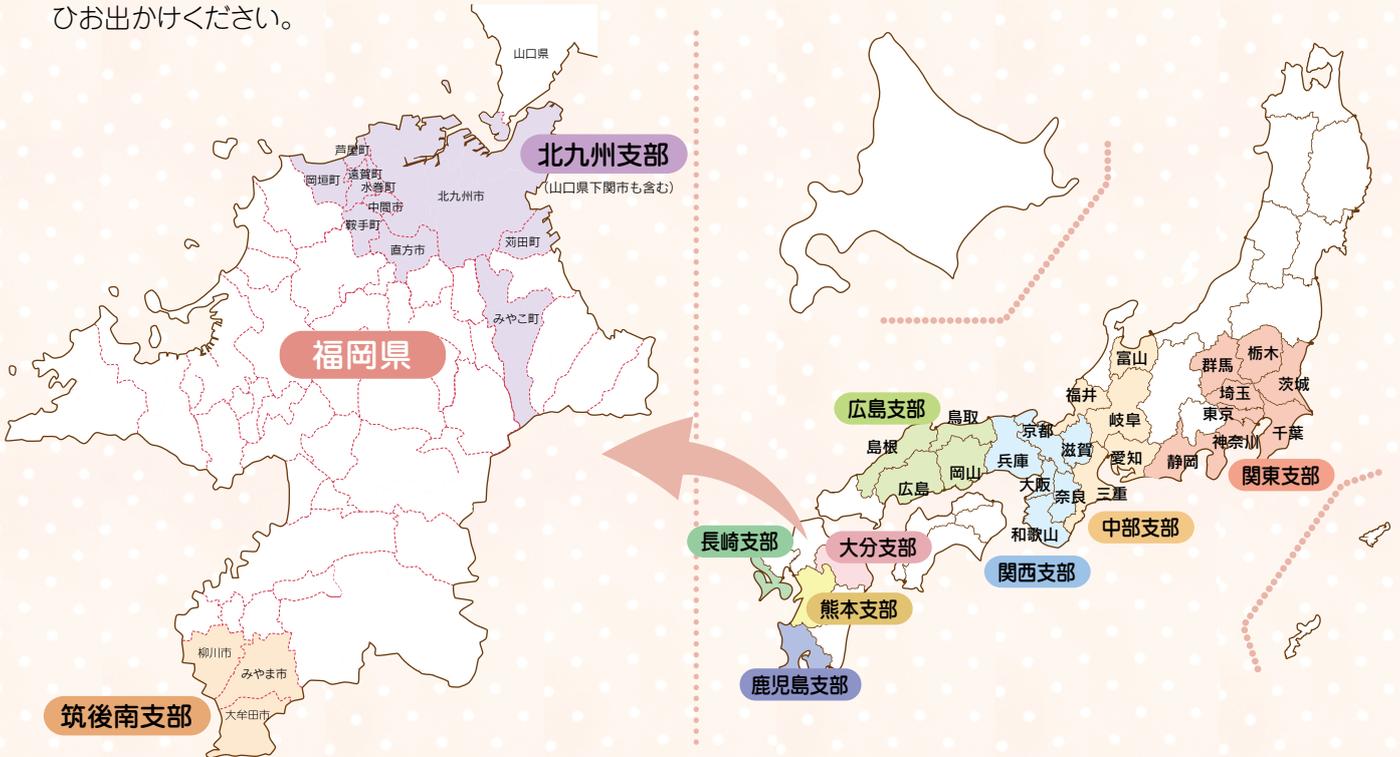




# 支部だより



現在**10支部**あります。各支部の所在地は下記の通りです。範囲以外のところにお住まいの方もお申し出があれば、どの支部にも、いくつでも所属することができます。毎年、各支部総会が開催され、趣向を凝らした温かい会となっています。ミッショングッズの販売も行います。支部会員以外の方も参加可能ですので、お誘い合わせの上、ぜひお出かけください。



## 2013年度 支部総会報告

支部名(支部会員数)  
支部長名(卒年)

10月1日(火)小倉ステーションホテルにて

北九州支部(1506名)  
洲上 千津子(S48年高卒)

今年度から新たに京都郡の方々にもご案内をお送りしました。支部長、会計、書記、監事の4名の役員で活動しています。他支部会にも参加し交流を持っています。支部会は毎年10月1日、同じホテルにて開催していますので、予定がたてやすいのではないのでしょうか。参加された方から、「年齢に関係なく新たな出会いがあり、女学院を思う楽しいひと時でした。」という感想を伺いました。



北九州支部役員

北九州支部には短大卒、大卒の方もたくさんお住まいです。ぜひ、皆さまのご参加をお待ちしています。

10月10日(木)ホテルグランヴィア広島にて

広島支部(131名)  
鳥飼 英子(S28年高卒)

支部を設立して13年になります。今年度より2年間の任期で支部長、副支部長2名を交代いたしました。

支部の範囲が広いので、開催地を工夫しようかとの案もありますが、現在のところ、なるべく多くの方が参加しやすいようにJR広島駅に隣接するホテルで行っています。



ぜひ、若い世代の会員の方々にも参加していただきたいと思います。

10月19日(土)リッツカールトン大阪にて

関西支部(481名)  
河本 紀子(S41年高卒)



関西支部では毎年支部長を交代することとなりました。今年度は前支部長の川上喜代子さんから引き継ぎました河本とS55年高卒のお当番の方々と活動しています。今回もリッツカールトンの厳かな雰囲気のレストランで、ダンスショーや懐かしい先生方のお話を伺ったりと、心弾むプログラムとなりました。

支部の範囲が広く、遠方の方は難しいかもしれませんが、機会がありましたら、是非、支部会にご参加くださいませ。来年も10月18日(土)、同ホテルにて行ないます。お待ちしております。新年度の支部長は三好純子さん(S42年高卒)です。

10月24日(木)

マリオットアソシアホテル名古屋にて

中部支部(123名)  
平田 輝子(S51年高卒)

今年度も温かい雰囲気の中、支部総会を開催することができました。

2014年度の支部総会は春に行います。音楽科卒業生のミニコンサート、そしてご参加下さる方があれば、翌日に伊勢神宮への旅も考えています是非皆さま、お越しください。



日時：2014年4月18日(金)午前11:30～  
場所：名古屋マリオットアソシアホテル

会費：未定

● **熊本支部**(608名)  
大石 陽子(S50年音卒)

11月2日(土)ホテルニューオータニ熊本にて



今年度もこの日はみなセーラー服姿に戻ったかのように和やかして賑やかなひと時となりました。

学院の方々からは女学院の現状を、大先輩方からは貴重なお話を伺える楽しい時間でもあります。

今後も世代を超えて、「わたしはぶどうの木～」の聖句の精神、ミッションスピリッツのもとに、母校に思いを馳せながら、支部会が続いて行くことを願っています。

次回の支部会では熊本の方はもちろん、ほかの地域にお住まいの同窓生の皆様にもお会いできればと思っています。

● **関東支部**(2094名)  
竹中 和子(S33年高卒)

10月25日(金)ハイアットリージェンシー東京にて



H13年音卒トリオの演奏

台風による秋雨の一日、お当番代行、S55年高卒、S57年短卒の方々のご来賓を迎え、木ノ脇院長の奨励、「ひとりよりふたりがよい」に同窓会の絆の意義を再認識し、松原理事長の現状報告：装い新たな校舎のイメージに、女学院の発展を祈らずにはいられません。H13年音卒のトリオ(平田さん、梶原さん、廣瀬さん)の心地よい調べに食も進み、新メンバーを加えたコーラスの合唱、恩師児玉敬先生の指揮によるハレルヤコーラスが、華やかな彩を添えました。

12月にはクリスマス会、年2回の談話室ぶどうの集いも予定しております。詳しくは関東支部ホームページ：  
fukujo.og.kanto@gmail.com  
をご覧ください。



● **鹿児島支部**(380名)  
菅原 愛子(S52年短卒)

11月11日(月)鹿児島東急インにて



支部長(右)と副支部長(左)

今年度、前支部長蓮尾悦子さん(S36年高卒)より引き継ぎました。菅原と新原美栄子副支部長(S52年短卒)の2名で活動しています。

支部総会ではフラダンス、風呂敷でのラッピング講座、リコーダー演奏と楽しいプログラムとなりました。

同じ鹿児島県でも、交通の便が悪く参加が困難な方もいらっしゃると思いますが、感謝とともに支部会を開催し、より多くの方が参加していただけるよう努めていきたいと思ひます。

● **長崎支部**(668名)  
水田 庸子(S42年高卒・S44年短卒)

長崎支部は今年度は諸般の事情のため支部会を開催しませんでした。支部長と副支部長(2名)で活動しています。支部会は長崎地区と佐世保地区と交互に開催しています。

教会で礼拝・総会をおこなったり、ソムリエの方や小浜温泉の女将の講演を企画したりと、参加された方々からは喜んでいただいています。

来年度も役員で楽しいプログラムを企画いたしますので、ぜひ、ご参加ください。

● **大分支部**(892名)  
安浪 敬子(S41年高卒)

11月8日(金)別府湾ロイヤルホテルにて



今年度は別府市にて開催いたしました。ここ何年かは北九州支部とお互いに支部会に参加し合っており、交流しています。支部長と役員(3名)で活動しています。

大分支部の会員は短大・大学出身の方が9割以上です。今回はH24年大卒の2名が参加してくれました。これからもグレードを超えて多くの方が参加していただけるような会を目指していきたいと考えています。

大分は観光地でもあります。同窓生の皆さま、支部会+観光でぜひ、ご参加ください。

● **筑後南支部**(649名)  
安藤 恭子(S48年高卒・S50年短卒)

11月19日(火)オームタガーデンホテルにて



筑後南支部役員

例年、同じ会場にて支部総会を開催しています。支部長と副支部長(2名)で活動しています。

毎年初めて参加して下さる方が数名いらっしゃいますので次もお越しいただけるよう定着を図れればと思っています。

支部会員と親睦を兼ねて学院行事への参加など、イベントも企画していきたいと考えています。

福岡女学院同窓会  
2014年度 関東支部総会のご案内

日時 2014年10月24日(金) 午前 11:00~

場所 明治記念館 東京都港区元赤坂 2-2-23

会費 8,000 円 + 1,000 円 (支部会費)

ゲストとうご期待!!



関東支部 HP <http://fukujo-og-kanto.tokyo-hp.com/>  
当番学年 S62 高卒

どの支部会にも参加できますので、  
同窓会事務局にお尋ね下さい

2013年度支部長会

5月16日(木)10支部 支部長と本部役員と  
報告会及び活動方針について討議いたしました。



# 卒業生紹介



現在まで約130名の留学生が大学、短大、大学院で学んでいます。今回は留学生の同窓生の中から、モンゴル出身のスチンコラさんをご紹介します。大学国際交流課では、毎年留学生の同窓会も行っていきたいと行っていました。

**私** は、福岡女学院大学を卒業後、結婚した日本人と一緒に日本に住んでいましたが、同じ時期に留学した仲間や知り合いが母国に帰ってしまい、寂しくなり、ホームシックにかかりました。故郷であるモンゴルへの思いが強くなったのです。それとともに、このまま専業主婦で終わりがたくない、自分の生活スタイルを変えて何かしようと思うようになりました。そのようなとき、「そうだ、モンゴル料理店を作ったら、モンゴル人の友達やモンゴルに興味のある人達が来てくれるのでは？何よりもふるさとへの思いが満たされるのでは？」と思い、主人の後押しもあり、一念発起してモンゴル料理店「モンゴルの城」を立ち上げました。経営者としての苦労はいっぱいありますが、モンゴルからの留学生をはじめいろんな国からのお客様が来られ、モンゴルの雰囲気



スチンコラ  
**斯琴格日勤さん**

モンゴル出身  
(H15年大卒)  
「モンゴルの城」(福岡市南区大橋)経営者

を味わってもらうことで大きな喜びを感じています。私の心の中には、お城のように大きくはありませんが、モンゴルを持っています。

福岡女学院大学で英語を勉強したことで、アメリカなど海外からお客様が来ても困ることはありません。英語で会話ができることが楽しいですし、お客様からも喜ばれています。

福岡女学院大学は、しっかりと勉強したい学生にとってぴったりの大学です。卒論で、モンゴル文字を絵で表現することがあったのですが、金藤先生と一緒に制作したことが思い出に残っています。私は、3年生まででほとんどの科目を履修しましたので、4年生のときは自分の好きな科目を履修しました。フラワーアレンジメントなど興味のあることを勉強でき、充実した学生生活を過ごすことができました。ただ、他の学生との交流を十分にはできなかったことが心残りです。みな、授業が終わるとすぐに帰ってしまっ、おしゃべりをする機会や時間がありませんでした。もっと大学生活を楽しんでほしいと思います。

栗山先生の日本語の授業の後で、先生が持って来てくださったお菓子を食べながら、日本の文化や文化の違いなどについて、たくさん話をしたことも思い出に残っています。

福岡女学院大学は、歴史がありしっかりと学校ですので、後輩に入学することを勧めたいと思います。



2013年12月 留学生の同窓会を開催しました(「モンゴルの城」にて)

自分の母校を勧めない先輩はいないと思います。

後輩の留学生の皆さんへ伝えたいことは、後悔しないようしっかりと勉強して欲しいということです。特に、日本語をしっかりと勉強してください。日本で仕事をするのは難しいです。正しい日本語を使えることがいかに大切か、身にしてみています。

最後に、福岡女学院大学に伝えたいことは、質のよい、成績が良い留学生を入れて欲しいということです。中途半端なレベルの留学生を入れないで欲しいのです。そして、しっかりと勉強させてレベルの高い、どこでも通用する人材を育てて欲しいと思います。

**母**の背中を見て幼い頃からなりたかった看護師を夢見て、福岡女学院看護大学の二期生として入学した4年前、まだできたばかりの大学に不安と希望をもちつつも、学長、副学長をはじめ先生方、先輩方、後輩たちそして二期生のみならずと過ごし、作り上げていった4年間は看護師としての知識・技術を学ぶだけでなく看護の心、女性としての感性や強さ、皆と二つ作り上げていく喜びを学べた貴重な時間でした。そしてこの春、看護師国家試験に合格し晴れて福岡女学院看護大学を卒業し看護師となれたこと、福岡女学院の同窓生となれたことをとても嬉しく思います。

4月よりICU病棟で働くこととなり、重症度の高い様々な疾患の患者さんが日々ICUに入室されています。生命に関わる機会が多い中で緊張感をもちつつも、医師や看護師、検査技師と協力して治療・ケアを行い、少しずつ病状が良くなり一般病棟に手を



**清水 愛さん**  
(H25年 看卒)  
福岡東医療センター勤務

振りながら転棟されていく患者さんを見るととても嬉しく思います。一刻と病状が変化していく中で私ができることは何なのか、患者さんの苦痛の緩和の為には何ができるのかを考

日々看護ケアに取り組み、患者さんから「ありがとう」との言葉を頂いたり、私の声掛けに笑顔で手を握り返してくださる患者さんを見ると、看護師としてのやりがいを感じます。辛い場面立ち会うことも多いですが、一番生命と近い環境で患者さんの小さな良い変化が私の今の喜びであり、看護師になることができよかったですと感じる瞬間です。

福岡女学院看護大学で学んだ知識・技術、看護の心、たくさんの仲間とともに培った感性、強さは今の私にとって大きな糧となっています。今後も福岡女学院看護大学で学び、得たものを活かし、自分の看護に生かしていきたいと思えます。これからもどうぞよろしくお願いたします。

**同窓会会報「ぶどう」より**

親子、姉妹、親類、職場などでの「ミッションファミリー」や、紹介した同窓生を「存知の方は是非事務局までご連絡ください」。

**Mission Family**  
FUKUOKA JO GAKUIN

わたしたちはぶどうの幹につながっています  
これまでも そして これからも

福岡市早良区百道浜にある『アンペレーナ百道』を訪問しました。お二人の他に同窓生が何名かお住まいになっていらっしゃいます。眺望のすばらしい24階のラウンジで女学院時代の思い出を伺いました。松井さんの「女学院の名を汚さないように生きていきたい。」という言葉が印象的でした。

女学院卒3名で頑張っています。『夢と感動の旅を!』それが私たちのmissionです!



**塚本 真生さん**  
H22年 短卒

**田村 彩さん**  
H21年 大卒

**安藤 唯さん**  
H23年 大卒

**東 鋭子さん**  
(旧姓/大家)さん  
S33年 高卒

**松井千枝子さん**  
(旧姓/吉田)さん  
S20年 女卒

## 東日本大震災の義援金と支援活動について



2012年度の義援金1,022,073円(バザーおよびグッズの売上金その他)は、活動支援金として、2013年6月ボランティア活動を行っている学内の3グループに各々34万円お渡ししました。(端数2,073円は同窓会運営会計寄付金として計上)

2013年夏休みに活動を行なった看護大と大学院臨床心理学専攻の2グループの報告をしていただきました。



大学・人間関係学部子ども発達学科  
「防災絵本製作」グループ(2014年2月に活動予定です。)

## 東日本大震災後の復興支援ボランティア活動報告



### 看護大

2年生2名、3年生1名、そして4年生1名の計4名で、2013年8月7日から同月12日におきまして、宮城県気仙沼市にある面瀬中学校仮設住宅に行ってきました。被災直後からそこで活動されている日本ホスピス在宅ケア研究会の看護師さんご指導のもと、入居者の方々の健康支援活動を目的に、集会所での血圧測定や健康相談、子ども達との交流、入居者宅の家庭訪問活動等を行わせていただきました。また「心も身体もスッキリ体操」というテーマで、簡単にリフレッシュできるミニ講座を開催させていただきました。

震災から3年が経過した今、心の問題が深刻化し、個々の事情に応じたケアが求められました。また、住民どうしの交流にも配慮したコミュニティーづくりもまた、大切な活動の一つでした。



リラクゼーション指導

実は私達、2012年の同時期にもここを訪れ、微力ながら活動(2012年度福岡女学院活性化助成事業)に携わらせていただきました。そこで継続支援の必要性を強く感じていましたが、学生の立場で苦慮していたのが資金面でした。だからこそ今回、同窓会からのご厚意は本当にありがたく、福岡女学院代表として活動させていただき思いを強くいたしました。今年の3月にも、再び同地区を訪れ活動予定です。更に住民の方々に喜んでいただけるよう頑張る所存です。

この場をお借りし、同窓会の皆様から心から感謝申し上げます。学生はもちろんのこと多くの方々に伝え広めていくことも私達の使命だと思い、現在、チャペルでの報告や報告書作りに励んでおります。

福岡女学院看護大学 3年 友永 理香



ボランティア活動と共にした他大学との学生と



### 大学院臨床心理学専攻

福岡女学院大学大学院人文科学研究科臨床心理学専攻では2011年8月から、教員と院生でチームを組み、東日本大震災の継続支援を行っていますが、このたび、2013年8月6日から8月11日までの6日間、教員2名、院生9名で、第5回目の支援を終えました。支援内容は、サート(主動型リラクゼーション療法)による大人の「リラクゼーション教室」を6か所の仮設住宅集会所で行い、子どもの集団遊戯療法として「あそぶ寺子屋」を1か所で実施しました。「リラクゼーション教室」に実施場所は、「グリーンピア田老仮設住宅集会所(グラウンド・テニスコート)」、「崎山仮設住宅集会所」、「椋内仮設住宅集会所」、「田老公民館」、「摂待地区公民館」の6か所で、期間中延べ177名の参加がありました。「あそぶ寺子屋」には延べ42名の子どもが参加しました。



あそぶ寺子屋

時間が経ってなお厳しくなる状況で、外に出られない高齢者のため、訪問サートを行う新しい試みもありました。現地の窓口の機関とも継続支援による密な関係が築かれ、今後は事前に予約を取ってくれるなど、支援体制にも進展がありました。

継続支援を可能にするのは、院生たちの熱い思いと、支えてくださる多くの方々のおかげです。このたびは、同窓会から多大な支援をいただくことができ、大きな励みになったことを改めて感謝申し上げます。

福岡女学院大学人間関係学部心理学科 奇 恵英



田老福祉センター職員を励まして

2013年3月末をもちまして、義援金活動を終了いたしました。ご協力ありがとうございました。



## 50年目の卒業式

S 37年高卒  
江副 史子 (旧姓/下田)



懐かしい母校を卒業して50年が文字通りあつという間に過ぎていきました。同窓会誌で承知していましたが、いざ高校の卒業式への招待状が届いたときには、年月の経過の早さに驚きを禁じえませんでした。しかしいそいそと「出席」の返信をだしたのは、私だけではなかったようです。

折角関東や関西からも旧友が集うというので、37会(昭和37年の卒業なのです)のお世話役さんが、前日には同期会を催して下さって旧交を暖めたのですが、次の日の式典出席を考えて早めにお開きになりました。



当日はあいにくの雨でしたが、皆、時間よりも早く参集し、同窓会室で胸にコサージュを付けて頂き、綺麗に改装された講堂へ着席しました。パイプオルガンの演奏にあわせて卒業生が入場。懐かしい先生方のお顔も見えて誰彼となく昔のニックネームが飛び出してきて、微笑とシートと言う声などがささやかれたり…。厳かな中にも温かみのある院長先生の式辞に耳を傾け、続いて証書を受け取る若き後輩達の姿に、昔の自分の姿を重ね合わせ、胸が熱くなりました。そして希望と夢を持って巣立ち行く卒業生達に神様のお守りとお導きが豊かであるようにと心から願い拍手を送りました。

式後は同窓会館に場所を変え、美しい花の飾られた卓で心づくしの美味しいランチを頂きながら、色々なお話に笑い声が絶えませんでした。そこへお忙しい中から時間を割いて二田校長が来室され、楽しい学院のお話をまたお聞きすることができました。

私たちは紛れもなく女学院で育てられ、一人ひとりがかけがえない存在であることを聖書から学び豊かな人生を歩いてくることが出来たと実感します。たとえいつも順風満帆でなかったとしても、神様と母校に心からありがとう！

## 教養講座「グレープ・ガーデン」報告

第16回

### チェンバロコンサート ～福岡女学院高等学校音楽科開設50周年を記念して～

2013年6月22日(土)

(チェンバロ) 山本 香代子 (S61年音卒)  
(バロックヴァイオリン) 片田江 智子 (S51年音卒)



チェンバロはルネサンス～バロック時代に用いられた楽器です。ピアノとよく似た形でありながら、その構造や音色は全く違います。

今回は、演奏だけではなく、楽器の構造や作曲された時代の話などをしていただきました。

後半は「バロック・ヴァイオリン」も加わり、普段はなかなか聴くことのできない「チェンバロとバロック・ヴァイオリンの二重奏」も演奏されました。演奏後のティーパーティーでは、古楽器についての素朴な疑問などにもお答えいただき、受講生のみならず大変喜んでいました。

第17回

### 「看護とコミュニケーション」 ～治る力を引き出すために～

2013年10月5日(土)

看護大学学部長  
前田三枝子先生(S41年高卒)



前田三枝子先生は、高校卒業後日本パプテスト看護専門学校に入学、卒業後アメリカのテキサス女子大学保健科学部看護学科及び筑波大学大学院修士課程で学びました。修士号取得後はパプテスト病院や大学医学部付属病院の看護部長等を歴任され、2012年より福岡女学院看護大学学部長に就任されました。

講演では、誰でもその人固有の苦しみを抱えているという認識に立ち、一人一人の苦痛に対応するためには、患者の話に耳を傾け、いい聞き手になることが大切だと言う傾聴の重要性をお話になりました。患者と看護師という立場だけではなく、私たち日常の人間関係においても、とても参考になるお話でした。

講演のあと、前田先生を囲み、お茶とお菓子をいただきながら、受講者からの次々に出る質問に熱心に答えてくださいました。短い時間でしたが、家族の介護や看病を控えている受講生にとっては大きな心の指南となりました。

お話を伺いたいテーマや講師のご推薦は、同窓会グレープ・ガーデン宛にご連絡をお願いいたします。  
グレープ・ガーデンは福岡女学院と同窓会の共催事業です。

# 学院 INFORMATION

## 福岡女学院大学・福岡女学院大学短期大学部



### 2014年国際キャリア学部誕生!

“英語力”と“国際キャリア力”をキーワードに世界を舞台に活躍する女性を育成します。

#### 国際英語学科

英語を国際語として捉え高度な英語力を育成します。英語を使って国際交流実務や教育分野で活躍できる人材を育てます。

- ・人文学部
- ・現代文化学科
- ・言語芸術学科
- ・メディア・コミュニケーション学科

#### 国際キャリア学科

本学で初めて国際ビジネスに焦点をあてた学科です。英語系に商学・経済系を融合させて国際キャリア力を育成します。

- ・人間関係学部
- ・心理学科
- ・子ども発達学科
- ・短期大学部
- ・英語科

お問い合わせ先／福岡女学院大学入試課 TEL.092-575-2970

ささえ、育み、未来につなぐ

## 福岡女学院看護大学

### 〈就職実績〉

#### ● 1期生 (2012年3月卒業)

国立病院機構系: **40**名

大学病院: **31**名

総合病院: **21**名

#### ● 2期生 (2013年3月卒業)

国立病院機構系: **46**名

大学病院: **37**名

総合病院: **20**名

高度な医療を提供している病院へ就職しています。



看護学部看護学科 学長 西間 三馨(国立病院機構福岡病院名誉院長)

〒811-3113 福岡県古賀市千鳥1-1-7 tel.092(943)4174

(連携先の国立病院機構福岡東医療センターに隣接)

## 福岡女学院中学校・高等学校



凛として、未来へ。  
わたしらしく、羽ばたく。

グローバル社会に向けて、  
生徒一人ひとりの力強い未来を創造。

「奨学金制度、更に充実!」

関係者奨学金・姉妹奨学金・全額支給特別奨学金制度など

お問い合わせ先 tel:092-575-2470

## 福岡女学院幼稚園

### ミッションメイト 入会のおさそい



2014年ミッションメイト会員の登録を受付けています。お知り合いの方で福岡女学院幼稚園に興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、ご紹介ください。

会員の方へは園庭開放など、本園の子育て支援情報を掲載した「こそだての森」と「ミッションメイトだより」を毎月お送りします。

会期 2014年1月～12月

対象 未就園児(0歳～4歳)とその保護者

(あかちゃん～2011年4月2日生まれの未就園児)

会費 無料

ご希望の方は福岡女学院幼稚園までお電話ください

TEL.092-575-2472

■ 短期大学開学50周年記念 天神サテライト特別講座 ■

学生時代に戻って、懐かしいあの先生の授業を聞いてみませんか？



**筑紫万葉の世界**

4月19日(土)  
10:30~12:00

前田 淑  
(福岡女学院短期大学名誉教授)



**英語世界の魅力**

4月19日(土)  
13:00~14:15

板倉 武子  
(元福岡女学院短期大学教授、  
福岡女学院大学名誉教授)



**どうして富士山は文化遺産なのかしら？**  
~フランス大使クロードルの富士讃をめぐって~

4月26日(土)11:00~12:15

小田桐 弘子  
(元福岡女学院短期大学教授、  
福岡女学院大学名誉教授)

**受講料**

【同窓生】 各講座 1,890円  
3 講座 4,500円(同窓生特別価格)  
【一 般】 各講座 2,100円

**会場**

福岡女学院天神サテライト  
福岡市中央区天神2-8-38 協和ビル9F

**申込み**

福岡女学院天神サテライト TEL 092(715)2718

**中高広報サポーター  
大募集!**

随時  
募集中!



© Yoshiko Kimura

**お店、教室、病院などに中高のポスターを  
掲示していただいただけませんか？**

福岡女学院中高の教育を広く世間に知ってもらい、多くのお子様にご入学いただきたいと考え、今年から中高広報サポーターを募集しています。福岡女学院につながる多くの方々にご協力いただきたいと思います。福岡女学院中高へのご協力よろしくお願いします!!

内容:中高ポスターの掲示、パンフレット・チラシの設置

現在はこんなところに設置されています

病院、飲食店、パン屋、会社、書店、ショールームなど

ご協力いただける方は中高事務室(092-575-2470)までご連絡ください。

**日本学生支援機構(旧日本育英会)奨学金返還ご確認のお願い**

在学中に奨学金の貸与を受けた卒業生の皆様、何かの手違いで返還が滞ってはいないでしょうか？日本学生支援機構から毎年、返還延滞率について報告が届いています。返還延滞率が悪い状況が続けば、同機構から女学院に割り当てられる奨学金枠の減少につながるのではないかと心配しています。また、遅滞者が多い大学名の公表も検討されているようです。どうぞもう一度、奨学金の返還についてご確認ください。万一、何らかの事由で返還が困難な場合には、返還猶予などの手続きを取ることが出来ます。日本学生支援機構にご相談ください。

奨学金返還相談センター:0570-03-7240(ナビダイヤル・全国共通)

**同窓会本部**

会長 栗山 昌子 (S30年高卒)

副会長 鶴 英子 (S38年高卒)

園田 浩子 (S39年高卒)

山下 偕子 (S55年高卒)

監査 松島 純子 (S47年高卒)

東村 嘉子 (S47年高卒・S49年短卒)

書記 伊藤 和子 (S46年高卒)

永田 典子 (S59年高卒・S61年短卒)

総務 黒瀬嘉代子 (S55年高卒)

境 紀子 (S51年高卒)

高木 文 (S52年短卒)

元山 香織 (S59年高卒・S61年短卒)

会員 後藤 好子 (S54年高卒・S56年短卒)

中野真理子 (S45年短卒)

泉田 裕子 (S52年高卒)

水野 朋子 (S56年高卒・S58年短卒)

広報 末吉 恵子 (S60年音卒)

井上 時世 (S37年高卒)

永田 直美 (S40年高卒・S42年短卒・  
H6年大卒・H8年大院卒)

財務 吉田美智代 (S39年高卒)

進藤 芳子 (S42年高卒)

宗田奈穂子 (S63年高卒・H3年短卒)

事務局 白木美恵子 (S56年高卒・S58年短卒)

時政 洋子 (S54年高卒)

藤井 美穂 (S58年音卒)

**同窓会活動**

- ① 同窓会総会
- ② 支部長会
- ③ 支部総会
- ④ 創立記念日のホームカミング&バザー
- ⑤ 卒後50年の同窓生の卒業式招待
- ⑥ 文化祭、講演会、学院行事への協力
- ⑦ 会報「ぶどう」発行
- ⑧ 85歳以上の会員へのクリスマスカード発送
- ⑨ 役員会
- ⑩ 同窓会開催への支援
- ⑪ ホームページ管理
- ⑫ 会員情報データ管理

## 2013年のバザー

- 2013.03.01 卒後50年ご招待

---

- 2013.05.17 同窓会総会(西鉄グランドホテル)

---

- 2013.05.18 創立記念日・  
同窓会ホームカミングデー

---

- 2013.09.07 中高学院祭

---

- 2013.10.25、26 大学祭「葡萄祭」

---

- 2013.11.9 看護大「Nursing Festa」

---

- 10月～11月 各支部総会(10支部)

---

- 2013.12.7 天神サテライト「ハンドメイドマルシェ」

---

- 2013.12.16 メサイアコンサート(アクロス)

バザー  
報告

学院や同窓会のイベントの際に  
ミッショングッズの販売やバザー  
を行っています。

※利益の一部はバザーの当該部署の  
支援金とします。

その他は、同窓会運営会計の寄付金の収入と  
し、使途については役員会で討議いたします。

バザー  
出店者  
募集

創立記念日には、同窓生による出店  
もあります。

今年も同窓生の出店(手作り品の  
み)を募集いたします。出店ご希望の  
方は、同窓会事務局(TEL&FAX  
092-575-2479)までお申し込みく  
ださい。但し出店料が必要です。(参  
考価格2013年度3000円)応募多  
数の場合は役員会にて検討させて  
いただきます。

応募締切 2014年2月28日(金)

## 同窓会サポーター募集!

同窓会の活動のお手伝いをしてくださる『サポーター』を募集しています。  
女学校、中高、短大、大学、大学院、看護大すべてのグレード卒業の方が対  
象です。

1日だけでも遠方の方でもOKです。バザーやホームカミングの際には「サポ  
ーター」の方々に協力いただいています。ご自分にあった同窓会や学院へのサ  
ポートの方法があると思いますので、まずはご登録をお願いします。サポーター  
としてご登録いただける方は、同窓会事務局(TEL&FAX092-575-2479)までご  
連絡ください。ぶどうの木の一枝として、福岡女学院に連なる皆様のご協力をお  
願いたします。



ホームカミングでのサポーターの皆さん



## 卒業生合唱団「葡萄」

世界遺産ケルン大聖堂の高い天井から、今歌った自分達の歌声が降りそそぐという体験に感動でした。

卒業生合唱団「葡萄」は、昨秋ドイツ・ベルギー・オランダと数ヶ所の教会で献歌をしながら旅をして来ました。街並みの美しさ、そして教会の立派さに目を見はり、又、土地の名物料理を味わい乍ら、ロンメル夫妻(奥様は女学院卒)の御世話で良い旅となりました。何事も無く無事に旅を終えることが出来、感謝を捧げたいと思います。

団長 古賀 博子(S31年高卒)



## お仕事会報告

同窓生、学院関係の皆様のおかげをもちまして、本年度も盛会のうちにバザーを終えることができ、心からお礼申し上げます。

今回は、美しく年を重ねていきたいと素敵なお手鏡を販売予定です。楽しみにして置いて下さいね。



### バザー売上げ 寄付先

- ・福岡女学院同窓会 ..... 1万円
- ・福岡女学院卒業生合唱団「葡萄」..... 2万円
- ・福岡女学院中高生徒会 ..... 3万円
- ・福岡女学院中高YWCA ..... 3万円
- ・国境なき医師団 ..... 3万円
- ・NPO法人ロシナンテス ..... 2万円
- ・子供の村福岡を設立する会 ..... 3万円
- ・福岡女学院教会 ..... 1万円

## 音楽科卒業生会



第16回音楽科卒業生会が2013年8月18日(日)福新樓にて開催されました。来賓として徳永徹福岡女学院名誉院長をはじめ栗山昌子同窓会会長等のご出席のもと、卒業生31名と共に無事に終える事ができました。来年も皆様のご参加を心よりお待ちしております。

2014年音楽科卒業生会演奏会 2014年7月10日(木) あいれふホール

## Mission Goods

Fukuoka Jo Gakuin Alumnæ Association

## ミッショングッズのお知らせ

同窓会では様々なオリジナルグッズを取り扱っています。同窓会事務局、または学院のイベントや各支部総会の際にも販売しておりますので、どうぞお求めください。



会計報告

■ 会費会計／収入の部

入会金	2,712,000 円
会費	22,569,000 円
合計	25,281,000 円

■ 会費会計／支出の部

運営会計へ 21,930,963 円

2012年度運営会計決算

■ 運営会計／収入の部

(単位：円)

	2012年度予算	2012年度決算	予算比	備考
会費会計より	21,930,963	21,930,963	0	
受取利息	0	4,259	-4,259	
雑収入	0	15,596	-15,596	名簿・ラベルシール代 他
イベント収入	1,500,000	1,369,000	131,000	総会費
前期より繰越	1,784,037	1,784,037	0	
合計	25,215,000	25,103,855	111,145	

■ 運営会計／支出の部

(単位：円)

	2012年度予算	2012年度決算	予算比	備考
総会費	2,300,000	2,081,694	218,306	総会費
記念品費	650,000	567,987	82,013	同窓会入会記念品代
支部関連費	1,700,000	1,801,979	-101,979	支部支援金、支部総会費 他
支援金(学院・会員)	4,000,000	690,000	3,310,000	大学・看護大学友会・中高生徒会支援金 他
活動費	1,180,000	888,440	291,560	バザー費、教養講座グレース・ガーデン 他
広報費	6,400,000	5,858,860	541,140	会報「ぶどう」発行費臨時号・18号 他
会員活動費	500,000	339,160	160,840	ホームカミング・卒後50年招待費 他
会議費	285,000	177,915	107,085	お茶代、オリエンテーション費 他
給与費	4,000,000	4,039,005	-39,005	事務職員 3 名分
コンピュータ関連費	800,000	1,037,000	-237,000	会員管理料、ホームページ管理料 他
旅費・交通費	400,000	390,200	9,800	役員交通費 他
通信費	1,500,000	263,555	1,236,445	電話・郵便代 他
雑費	400,000	379,111	20,889	税理士報酬、役員保険料 他
消耗品費	200,000	213,400	-13,400	事務用品代 他
設備・営繕費	350,000	378,631	-28,631	中庭ガーデニングメンテナンス料 他
慶弔費	50,000	41,500	8,500	花代 他
予備費	500,000	0	500,000	
合計	25,215,000	19,148,437	6,066,563	
次期繰越	0	5,955,418	-5,955,418	
合計	25,215,000	25,103,855	111,145	

2013年度運営会計予算

■ 運営会計／収入の部

(単位：円)

科目	2012年度予算	備考
会費会計より	16,344,582	
受取利息	0	
雑収入	0	
寄付金	0	
イベント収入	2,500,000	
前期より繰越	5,955,418	
合計	24,800,000	

■ 運営会計／支出の部

(単位：円)

	2012年度予算	備考
総務部費	2,200,000	総会費他
会員部費	1,080,000	ホームカミング、卒後50年招待費、入会記念品費他
広報部費	3,470,000	会報「ぶどう」発行費他
活動費	1,640,000	グレースガーデン・バザー開催等活動費
支部関連費	1,950,000	支部支援金、支部総会費他
支援金(学院・会員)	710,000	各グレード・メサイア・サテライト支援費他
会議費	200,000	会議費
給与費	4,300,000	事務局3名
コンピュータ関連費	900,000	会員・ホームページ管理料他
旅費・交通費	500,000	役員交通費、支部総会事務局交通費他
通信費	300,000	電話、郵便代他
雑費	500,000	税理士報酬、保険料他
消耗品費	250,000	事務用品代他
設備・営繕費	250,000	ガーデン費他
慶弔費	50,000	
予備費	500,000	
学院支援積立金	6,000,000	2012年分300万円 2013年分300万円
合計	24,800,000	

2013年4月20日監査の結果、相違のないことを認めます。(監査部)

財務部より

同窓会がよりいっそう充実するように運営していきたいと思ひます。今後も、同窓会の充実・発展のため、会費納入のご協力をお願いいたします。

同窓会へのご寄付ありがとうございました。

井上ゆみ子様、後藤好子様、長岡陽子様、平田輝子様、松岡緑先生、諸岡邦子先生、横田綾子様、和田和子様、お仕事を

【同窓会会費について】

同窓会活動の運営は会員の皆様の会費で成り立っております。今後も同窓会活動の充実・発展のため、会費納入のご協力をお願いいたします。会費の振込は次ページの振込用紙をご利用ください。この振込用紙は同窓会会費専用の振込用紙ですので、他のお支払いにはくれぐれも利用されないようお願いいたします。同窓会会費は1口1,000円ですが、1,000円から何口分でもお支払いいただけます。満期は50口です。会報「ぶどう」の送付の際の宛名ラベルシールの左下に数字が記載されている場合は、会費の満期までの口数となります。何も記載されていない場合には、完納されている方です。

■ 満期までの口数(残)

完納された方にはこの数字が入っていません。  
(例)この場合は満期(額)に対して21口分(21,000円)残っています。  
※1,000円から何口分でもお支払いいただけます。

ご不明な点は同窓会事務局までお尋ねください。  
(TEL&FAX 092-575-2479)

宛名ラベルシール



■ 会員No.

郵便振込口座番号 01790-4-19034 福岡女学院同窓会

氏名の漢字表記について

氏名の表記でシステムの都合上、旧字体など表示できない場合がございます。その場合は代替文字で表記させていただきます。ご了承ください。

例: 吉→吉 辻→辻

ご住所のお届けについて

卒業後の住所のデータ管理は同窓会事務局にて行っております。同窓会へのお届けの住所、氏名等に変更がある場合には必ずご連絡ください。住所変更はホームページからでもできます。

同窓会事務局 TEL&FAX 092-575-2479

ホームページ <http://www2.fukujo.ac.jp/alumnae/> E-mail [alumnae@fukujo.ac.jp](mailto:alumnae@fukujo.ac.jp)

# ガリラヤ湖のほとり

大学宗教主事 中川 憲次

## ● 目が濁る

ラオディキアにある教会の天使にこう書き送れ。  
「アーメンである方、誠実で真実な証人、神に創造された万物の源である方が、次のように言われる。  
『わたしはあなたの行いを知っている。あなたは、冷たくもなく熱くもない。むしろ、冷たいか熱いか、どちらかであつてほしい。熱くも冷たくもなく、なまぬるので、わたしはあなたを口から吐き出そうとしている。あなたは、わたしは金持ちだ。満ち足りている。何一つ必要な物はない』と云っているが、自分が惨めな者、哀れな者、貧しい者、目の見えない者、裸の者であることが分かつていない。そこで、あなたに勧め、裕福になるように、火で精錬された金をわたしから買うがよい。見えるようになるために、目に塗る薬を買うがよい』。ヨハネの黙示録3章14節—18節

ここで「ラオディキアにある教会」は、「熱くも冷たくもなく、なまぬるので、わたしはあなたを口から吐き出そうとしている」と言われ、続いて「あなたは『わたしは金持ちだ。満ち足りている。何一つ必要な物はない』と云っているが、自分が惨めな者、哀れな者、貧しい者、目の見えない者、裸の者であることが分かつていない」とも言われ、そして、挙句の果てに「見えるようになるために、目に塗る薬を買うがよい」と言われてしまっています。ラオディキアの教会の人々の目は目薬が必要なのに濁っていたようです。しかしそれは、心の目が濁っていたということでしょう。

最近、私は生後数ヶ月の赤ん坊を抱っこさせていただきました。その赤ん坊の目は、実に澄み切っていました。ああ、赤ん坊の目は澄み切っていたのだと、今更の如く思い知った次第です。赤ん坊の目が澄み切っているのは、多分心の目が澄み切っているのでしょう。学生さんの目もきれいですけれど、あの赤ん坊の目と比べると、少し濁りかけているかもしれません。それは、心の目が濁りかけているのでしょうか。福岡女学院に集う教員や学生の心の目が濁り

かけているとしたら、一刻も早く心の目にさす目薬を買って求めねばなりません。では、そんな目薬はどこで売っているのでしょうか。薬局で売っていないことだけは確かです。だからこそ、学校礼拝の場が大切になってきます。だから、学校礼拝の場においてこそ、心の目の濁りに効き目のある目薬のような言葉が語られる必要があります。学校礼拝が終わって退出する学生さんの心の目の濁りが取り除かれていなければ、活き活きしたやる気が学生さんの心にもりもりと沸き起こって来ることでしょう。

実に心の目だけは化粧のしようがありません。顔についている目にはアイラインを引いたり、アイシャドウを塗ったりできるでしょうが、心の目に化粧はできません。私はいつも願っています。学校礼拝に出席した学生さんが、活き活きとした目をして礼拝の場を後にすることを。反対に入つて来た時よりも濁った目で行くようなことになったら、何のための学校礼拝なのかと、本当に悲しくなります。このことは、学校礼拝だけに留まりません。講義が語られる教室についても同じことが言えるでしょう。先生方の講義にも、心の目の濁りに効く目薬のような講義もあれば、心の目を濁らせる講義もあるでしょう。それは、講義を終わった後出てくる学生さんの目を見ればわかります。まったくのところ、心の目の濁った教員や学生で満ち満ちているミッシェンスクールなどというのは、お話になりません。この福岡女学院大学がそんなミッシェンスクールにならないためにこそ、まずは学校礼拝があります。どうかそのことを、肝に銘じてお覚えください。

以上は、この前期の最後の礼拝の奨励の抄録です。後期には、教員も学生も新たな気持ちで喜び勇んで学校礼拝に集うようにと願っています。同窓の皆様にもお祈りいただければ幸いです。

## 逝去

つつしんで哀悼の意を表し、主による平安をお祈りいたします。

2013.1.11	大石	慶子	(坂)	S 2 3	女
2013.1.27	杉野	トミ子	(植山)	S17女S18	短
2003.7.26	須河内	幸子	(須河内)	H 2	短
2012.8.25	大村	幸子	(矢羽田)	S 6 0	高短
2012.9.8	田中	りさ	(田中)	H 1 4	高短
2013.3.6	福井	美紗子	(池田)	S 3 4 1	高短
2010.5.17	永倉	水丸	(川辺)	S 4 1	高短
2013.4.3	山田	節子	(太田)	S 4	高短
2012.12.9	福山	ハルヨ	(宮本)	T 1 3	高短
2013.3.27	河合	美夏	(今村)	S 3 2	高短
2013.3.21	喜多	露子	(佐竹)	S 1 7	高短
2012.5.31	鎌田	加寿子	(中村)	S 1 5	高短
2012.1.12	末広	内子	(朝長)	S 2 4	高短
2013.4.29	堀内	靖子	(朝長)	S 2 4	高短
2011.1.12	木屋	真子	(江藤)	S 4 7	高短
2013.6.23	土屋	昭子	(中藤)	S 2 0	高短
2010.7.19	玉井	真子	(安藤)	S 4 7	高短
2013.6.28	田中	江子	(大橋)	S 3 3	高短
1995.1.1	大村	律子	(福田)	S5女S6	高短
2012.8.14	松尾	達子	(森部)	S 4 7	高短
2013.7.25	井上	愛子	(吉浦)	S18女S19	高短
2013.9.4	上倉	蒼生	(丸)	S 3 5	高短
2013.6.25	毛屋	柄子	(立野)	S 2 0	高短
2012.10.23	鋤柄	友子	(加藤)	S 8	高短
2002.2.3	鋤柄	友子	(加藤)	H 4	高短
2011.1.11	白岩	美鈴	(大谷)	S42高S44	高短
2012.12.11	渡辺	鎌子	(有田)	S 2 2	高短
2013.9.28	池永	吟子	(有未)	S 3 3	高短
2013.10.11	安森	麗子	(岩本)	S 2 3	高短
2010.1.18	藤井	美子	(西山)	S 1 6	高短
2012.5.1	山中	春子	(市)	S 2 5	高短
2013.9.5	入江	美智子	(浜野)	S 2 5	高短
2013.9.2	勝野	八重子	(勝野)	S 3 1	高短
2013.10.19	山口	博子	(山口)	S28高S29	高短
2013.7.6	岩下	佐枝子	(橋本)	S47高S49	高短
2013.9.3	原	ゆり	(弥吉)	S 5 6	高短
2012.2.23	古森	和子	(古森)	S 2 1	高短
2013.11.21	濱門	真帆	(高平)	H 5	高短
2013.11.10	渡田	英子	(福井)	S 1 4	高短

\* ( ) は旧姓です。\*届出順です。



2009年より始まったキャンパスマスタープランは、現在2期工事が進行しており、2014年2月には竣工、供用開始となります。

1期工事で完成した建物1Fには250名収容の多目的ホール(エリザベス・リーホール)、2Fには学院本部事務室、3Fには情報教育センターなどが入りました。2期工事で完成する新棟では、大学事務室が本部事務室と直結し、学生や教職員へ効率よい事務サービスが行われます。その他にも女学院紹介スペース、さらに充実したメディア情報スペース、大会議室などができます。また、6Fには、資料室が移転し、1Fの女学院紹介スペースより、パソコンで、アーカイブや資料の検索ができるようになります。その隣には資料室を訪れた方々がゆっくりと歓談できる談話室が設けられ、懐かしい思い出とともに歓談していただくことが出来ます。屋上には日佐の風景を見渡せる展望台ができます。皆様も是非お越しください。

# 福岡女学院 創立129周年 同窓会ホームカミング&バザー

## 2014年5月17日(土)

10:00-15:00

メイポールダンス終了後

同窓会センターにてお茶とお菓子をどうぞ

卒業生による手作品バザー・ミッショングッズ等を販売いたします。  
懐かしい先生方やお友達と楽しいティータイムをお過ごしください。  
ご家族やご友人等とお誘い合わせのうえ、是非お越しください。



卒業50年を記念して、母校の卒業式にお招き致します。次回はS38年卒の皆様方です。

どうぞお楽しみに。当日は同窓会センターにて式後軽食の準備をしております。

日時 **2014年3月1日(土)**  
10:00~

場所 **ギール記念講堂**



# Messiah

George Friedrich Handel

The 32nd

「第31回メサイア」を無事盛会の内に終了できましたことを心より感謝申し上げます。  
さて、今年も「第32回メサイア」を開催いたしますので、  
皆様お誘い合わせの上ご参加くださいますようご案内申し上げます。

第32回メサイア

**2014.12.23** (火・祝) 16:30開演予定 **会場** アクロス福岡シンフォニーホール

## 合唱団員募集

7月中、本部総務課で受け付けます。

はがき、電話、ファックスまたはEメールで申し込んでください。  
申し込み方法: 名前、住所、電話、パート、卒業年度、  
メサイア経験有無を明記してください。

申し込み先

〒811-1313 福岡市南区日佐3丁目42-1 福岡女学院総務課宛  
TEL:092-581-1492 FAX:092-575-2470 E-mail: messiah@fukujo.ac.jp

編集後記

ぶどうの一粒

新年あけましておめでとうございます。

今回の会報「ぶどう」はいかがでしたでしょうか?

原稿をお寄せくださった皆様、学院の先生方、その他大勢の方々のご協力ありがとうございました。

これからも未永く福岡女学院の伝統を受け継いでゆく会報をお届けしたいと思います。

ご意見、ご希望がございましたらお聞かせください。

皆さまのご健康をお祈りいたします。

(広報部: 末吉恵子、井上時世、永田直美)

## 同窓会設立100周年「年史」発行にあたってのお願い

2014年福岡女学院同窓会設立100周年を迎えます。同窓会では『年史』の発行を予定しています。学院や同窓会に関する過去の記録や資料をお貸し下さる方がいらっしゃいましたら、同窓会事務局(TEL:092-575-2479)までご連絡ください。ご協力をお願いいたします。

●福岡女学院同窓会会報「ぶどう」第19号 2014

### 福岡女学院同窓会

〒811-1313 福岡県福岡市南区日佐 3-42-1

TEL・FAX(092)575-2479

【URL】 <http://www2.fukujo.ac.jp/alumnae/>

【E-mail】 [alumnae@fukujo.ac.jp](mailto:alumnae@fukujo.ac.jp)

### ■個人情報取扱いについて

2005年4月より、個人情報保護法が制定されました。個人情報を取り扱う同窓会事務局としまして、慎重に皆様の会員データを管理しております。懐かしいお友達へのご連絡など、事務局へ沢山の問い合わせがござりますが、必ずご本人様への確認をさせていただいた上でお答えしております。同窓会会員には同姓同名の方が多くいらっしゃいます。データ管理の間違いを防ぐために生年月日のご確認をさせていただきます。皆様のご理解とご協力をお願い致します。

住所・氏名変更、同窓会会費その他お問い合わせ、ご連絡は同窓会事務局へ(受付時間:月~金 午前10:00~12:00/午後13:00~16:00)